

来年度の商工施策を要望 JMU・コロナ対策中心に52項目



11月30日多々見市長(右)に対し正・副会頭など役員が要望

舞鶴商工会議所は、9月から各部会を中心に取りまとめていた「来年度の商工施策要望」について、11月30日多々見舞鶴市長に要望書として提出しました。この要望は、京都府や舞鶴市などの次年度予算編成に当たって、会員の声を反映してもらおうと、毎年行っているものです。今年の内容は“JMU対策”や“コロナ対応”を中心に52項目。小西会頭をはじめ、安達・今安・一盛副会頭らが、多々見市長に面談し、説明とともに手渡しました。(2、3ページに関連記事)

目次

商工施策要望	2、3
青年部40周年—ソプラノ歌手田中彩子さんが来訪	3
“JMU対策連絡会議”が開催	4
固定資産税の軽減措置のお知らせ	
“舞鶴・綾部創業塾”を開催	5
会員企業紹介(クリーニング木村)	6
新入会員企業紹介(YASAI)	
“ふるさと納税”返礼品の活用を	7
小規模持続化補助金を受付中	
新年互礼会、新春経済講演会	8